

治験の効果的・効率的な実施のために

- 症例集積性の向上
 - － 医療機関での症例増加
(大規模化・患者数増加等)
 - － 複数医療機関全体での
多数症例の確保
- 事務的業務の効率化
 - － 作業自体の効率化
(作業プロセスの整理等)
 - － 医療機関共通作業の集約
(IRBの一元化等)

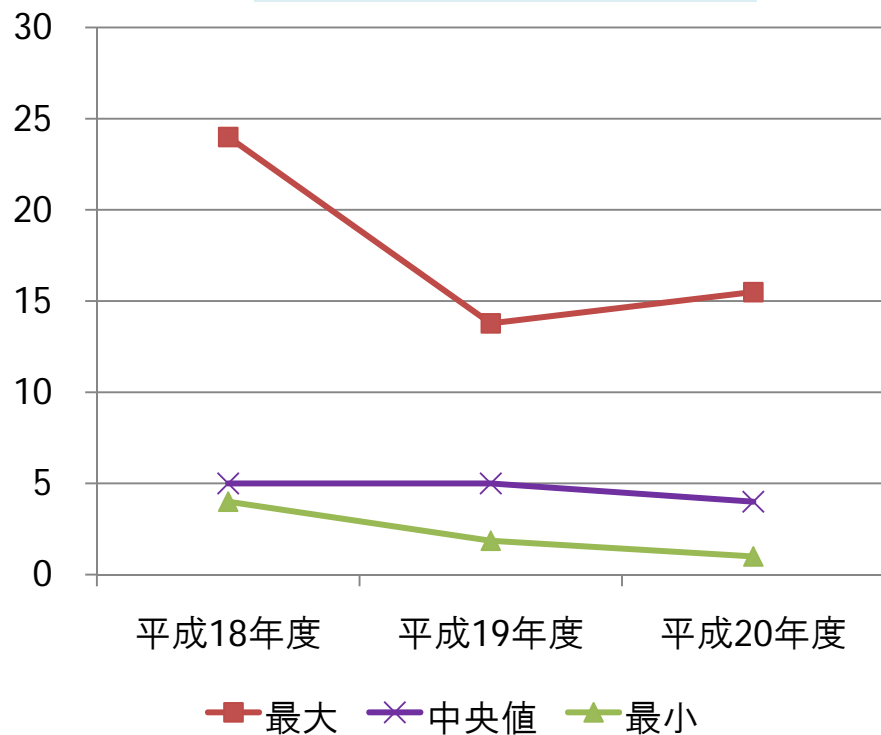
個々の
医療機関
における取組

全体
での取組

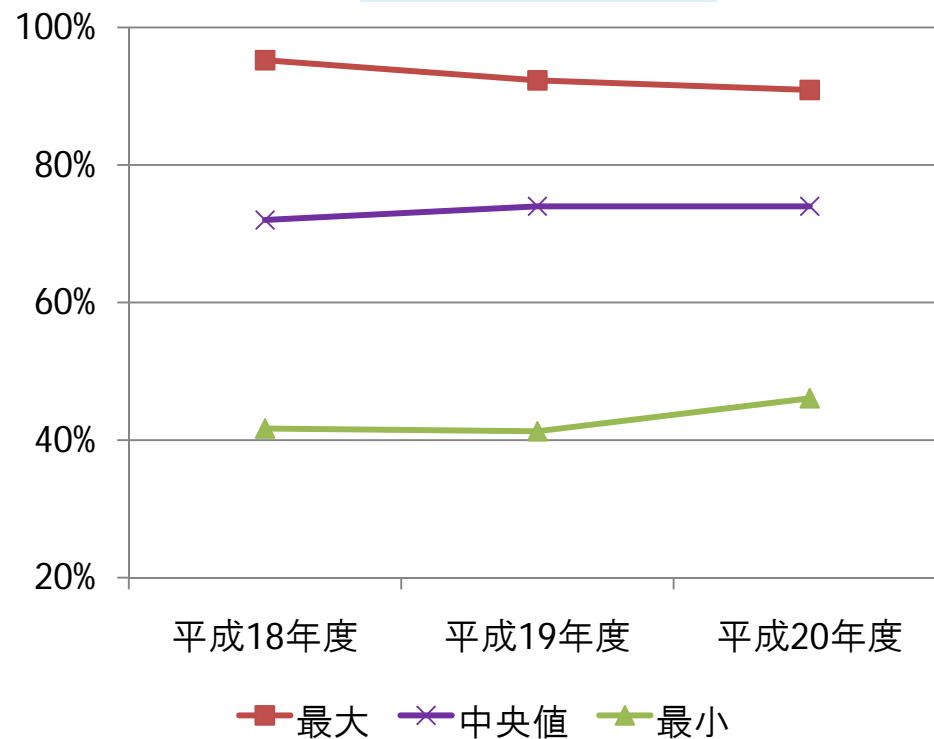
症例の集積性

(第1回検討会資料より抜粋)

1治験あたりの症例数



実施率の推移

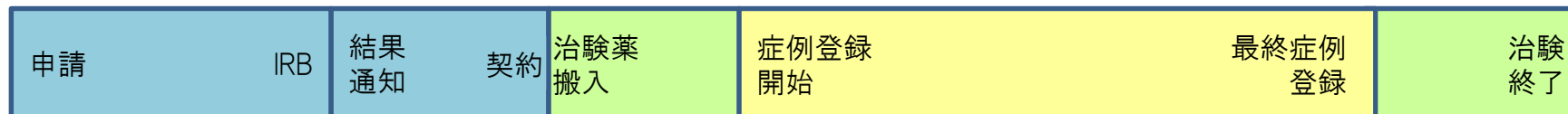


中核病院・拠点医療機関等協議会*

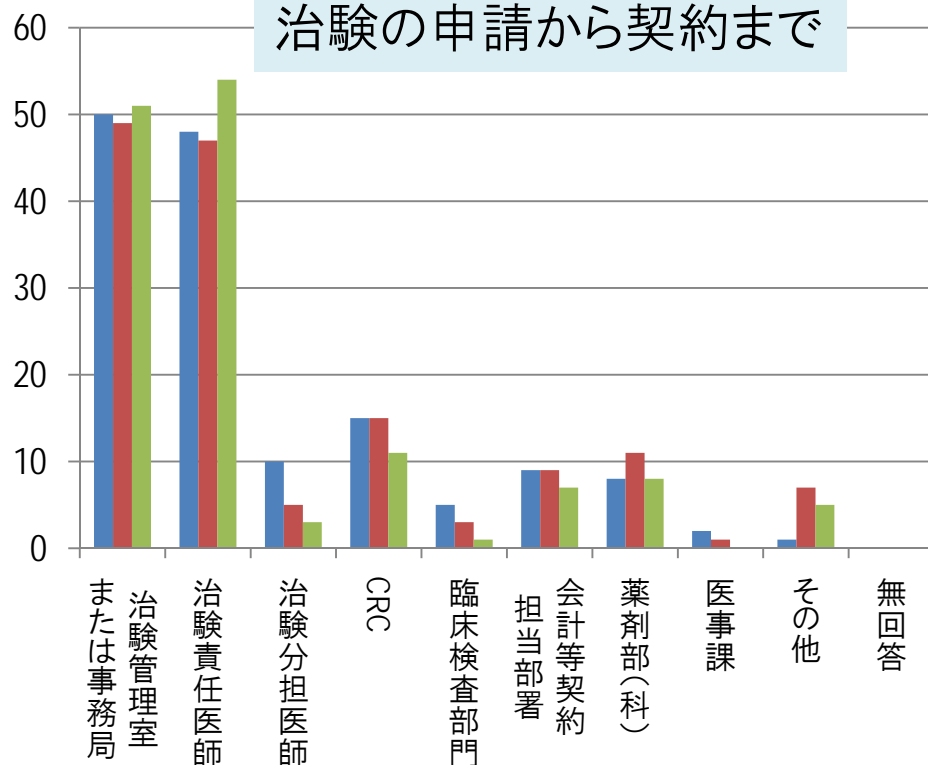
* 中核病院、拠点医療機関、橋渡し研究支援推進プログラム実施 機関から構成
治験・臨床研究基盤整備状況調査結果より抜粋(平成20年度データは暫定)

治験依頼者の訪問箇所

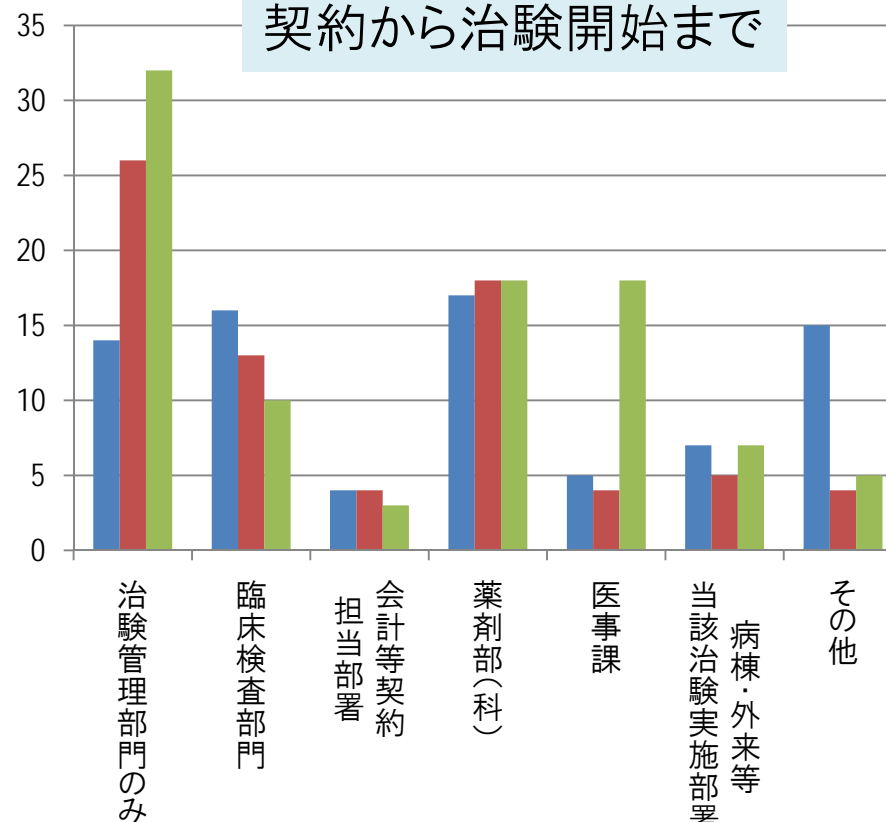
＜一般的な治験の流れ＞



治験の申請から契約まで



契約から治験開始まで



■ 平成18年度 (n=52) ■ 平成19年度 (n=53) ■ 平成20年度 (n=54)

■ 平成18年度 (n=52) ■ 平成19年度 (n=53) ■ 平成20年度 (n=54)

中核病院・拠点医療機関等協議会*

* 中核病院、拠点医療機関、橋渡し研究支援推進プログラム実施 機関から構成
治験・臨床研究基盤整備状況調査結果より抜粋(平成20年度データは暫定)